

# もがみ観光交流推進プランの概要

## 【本県及び最上地域の観光の現状と課題】

### 【観光を取り巻く環境】

- 少子高齢化を伴う人口減少の進展
- グローバル化の進展
- 景気の低迷による旅行消費の縮小
- 多様化する観光ニーズ
- 情報通信技術の進歩
- 高速交通網の環境変化
- 国による観光関連施策の推進

### 【本県の現状を踏まえた課題】

- 温泉宿泊者の減少への対応
- 年間を通じた来訪者の確保
- 観光ニーズの多様化への対応
- 受入態勢の整備と人材育成
- 満足度の高い観光地域づくり
- 効果的な情報発信
- 外国人旅行者の受入施設の拡大、受入態勢整備
- 外国人旅行者の対象地域と宿泊の拡大

### 【最上地域の現状を踏まえた課題】

- 観光資源の発掘・磨き上げ  
最上地域の観光資源が少ない、あるいは知られていない。資源の発掘と磨き上げを図り、滞在型観光を推進する必要あり。
- 地域一体の事業展開  
観光資源をばらばらに売り出すことが多く、消費者に与えるインパクトが弱い。最上地域が一体となった事業を展開する必要あり。
- 「観光産業」の推進  
観光事業や観光の振興に取り組む企業・団体や個人が少ない。農業や商工業、サービス業など他の産業と連携しながら、地域の総合力を発揮し、「観光産業」を推進していく必要あり。

## 【最上地域の観光の目標】

計画期間 策定～H26年度(5ヵ年)

### 基本目標

地域資源を活かした

「日本のふるさと最上」の展開

### 【計画期間中の目標及び評価指標】

#### (1) 来訪者数

○延べ300万人(H26年度)

#### 【参考】

延べ277万人(H21年度)

○年間を通じた観光入込客数の増加

#### (2) 外国人来訪者数

○延べ1万5千人(H26年度)

#### 【参考】

延べ6,453人(H21年)

#### (3) その他

「観光消費額」「リピーター率」

「観光に関する満足度」

「行祭事・イベントの来訪者数」

## 【7つの重点施策】

### (1) 地域が一体となった展開

○イメージ戦略の展開

○市町村の枠にとらわれない連携強化

### (2) 観光資源の発掘・磨き上げと強みへの特化

○観光資源の発掘・磨き上げ

○着地型観光の推進

○最上地域独自の「観光キャンペーン」の開催

### (3) 国内ターゲットを明確にした展開

○国内(県内、仙台圏、首都圏)

### (4) 外国人旅行者(インバウンド)への積極的な取り組み

### (5) 「もがみのおもてなし」の確立

○人づくり

○地域づくり

○受入れ環境の整備

### (6) 広域連携と交流の促進

○広域連携の促進

○交流の促進

### (7) 効果的な情報発信

○ICT(情報通信技術)への取り組み

○紙媒体への取り組み

○さまざまな機会を活用した情報提供